平成27年度「地域における男女共同参画推進リーダー研修＜女性関連施設・地方公共団体・団体＞」

男女共同参画社会の形成に向けた文部科学省の取組

文部科学省生涯学習政策局
男女共同参画学習課

平成２７年5月２０日

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第３次男女共同参画基本計画（平成２２年１２月１７日　閣議決定）

男女共同参画社会の形成に向けて、文部科学省では第３次男女共同参画基本計画に基づき、様々な取組を実施している。

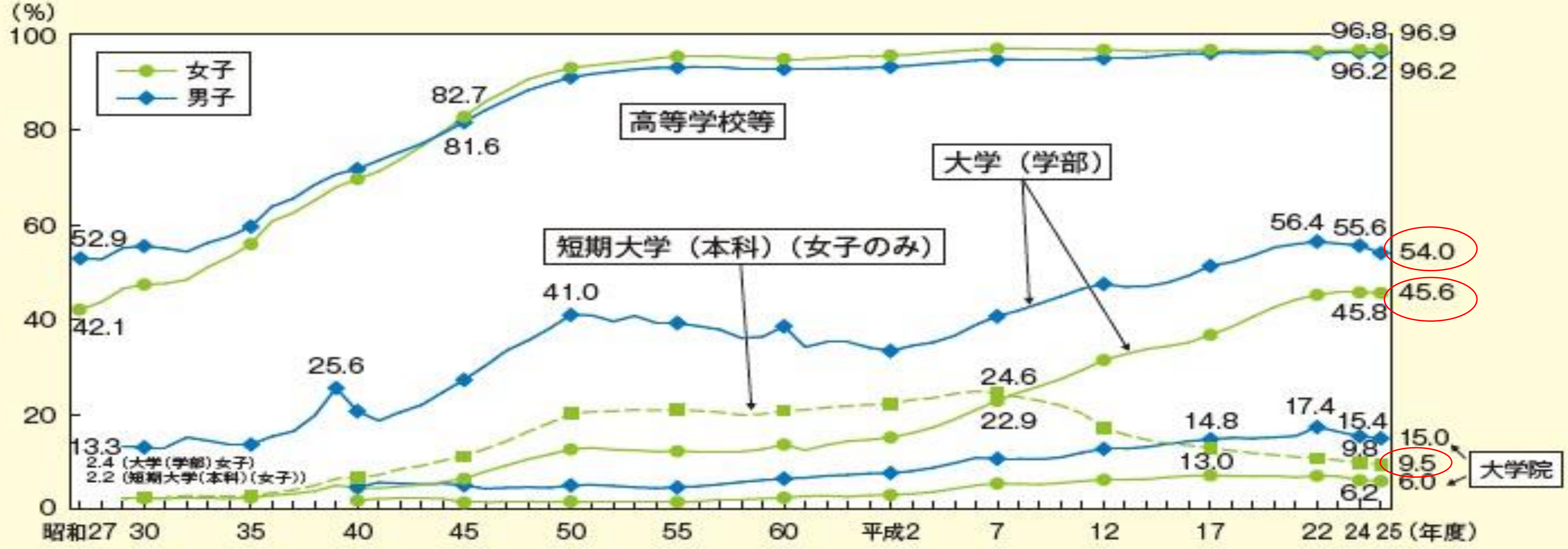
【重点分野】

- 第１分野　政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
- 第2分野　男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
- 第3分野　男性、子どもにとっての男女共同参画
- 第4分野　雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
- 第5分野　男女の仕事と生活の調和
- 第6分野　活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進
- 第7分野　貧困など生活上の困難に直面する男女への支援
- 第8分野　高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備
- 第9分野　女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 第10分野　生涯を通じた女性の健康支援
- **第11分野　男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実**
- **第12分野　科学技術・学術分野における男女共同参画**
- 第13分野　メディアにおける男女共同参画の推進
- **第14分野　地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進**
- 第15分野　国際規範の尊重と国際社会の「平等・開発・平和」への貢献

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

学校種類別進学率

大学（学部）への進学率は、男子54.0%、女子45.6%と男子の方が高いが、女子は9.5%が短期大学（本科）へ進学しており、短期大学への進学率を合わせると、女子の大学等進学率は55.1%となる。

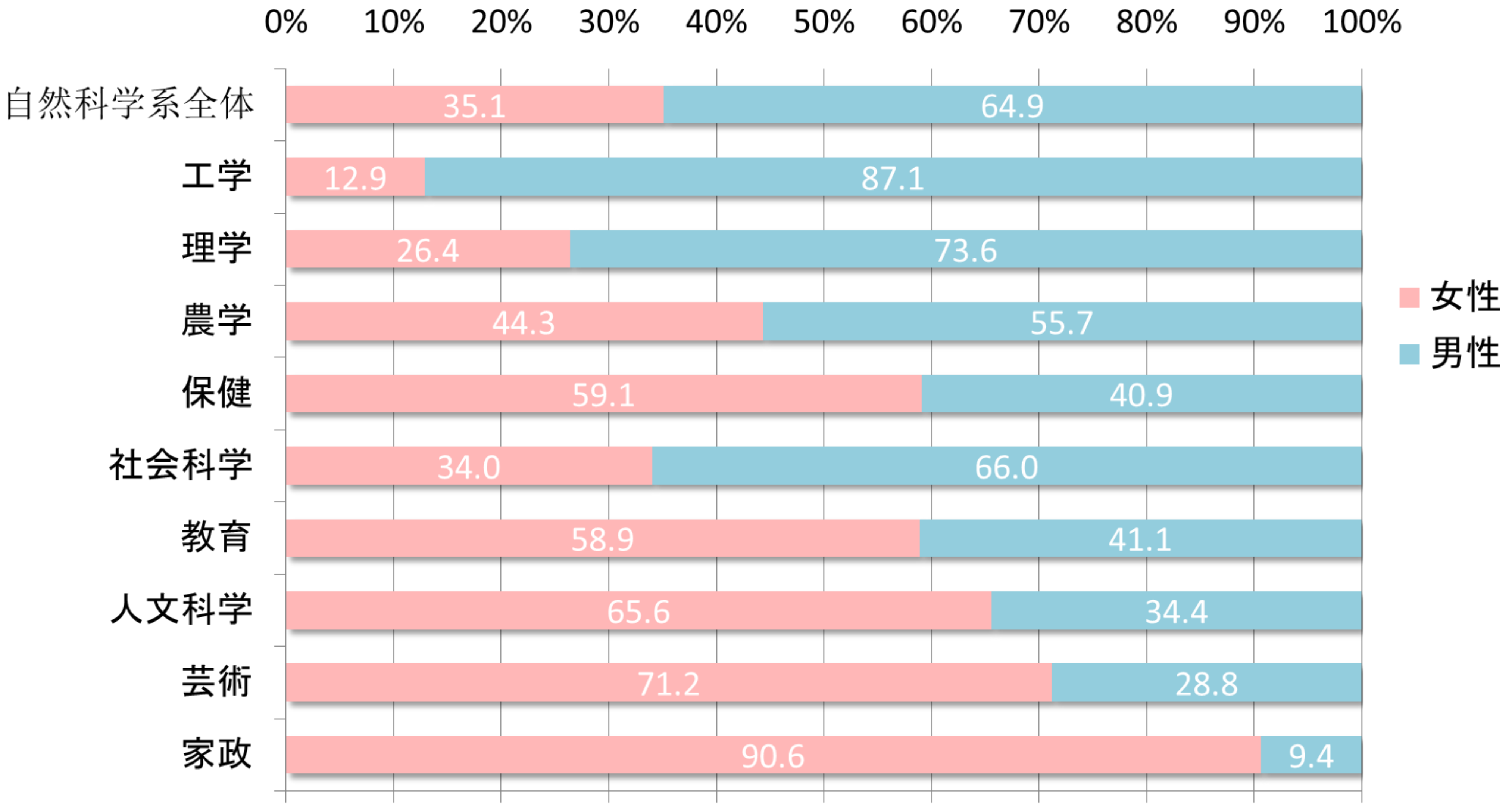


（備考） 1．文部科学省「学校基本調査」より作成。
2．高等学校等：中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者のうち，高等学校等の本科・別科，高等専門学校に進学した者の占める割合。ただし，進学者には，高等学校の通信制課程（本科）への進学者を含まない。
3．大学（学部），短期大学（本科）：過年度高卒者等を含む。大学学部・短期大学本科入学者数（過年度高卒者等を含む。）を３年前の中学卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数で除した割合。ただし，入学者には，大学又は短期大学の通信制への入学者を含まない。
4．大学院：大学学部卒業者のうち，直ちに大学院に進学した者の割合（医学部，歯学部は博士課程への進学者）。ただし，進学者には，大学院の通信制への進学者を含まない。

（出典）平成26年版男女共同参画白書

学部学生に占める女性の割合(分野別)

各学部に所属する男女の割合には偏りが見られる。特に、工学系の学部における女性の割合は1割程度。

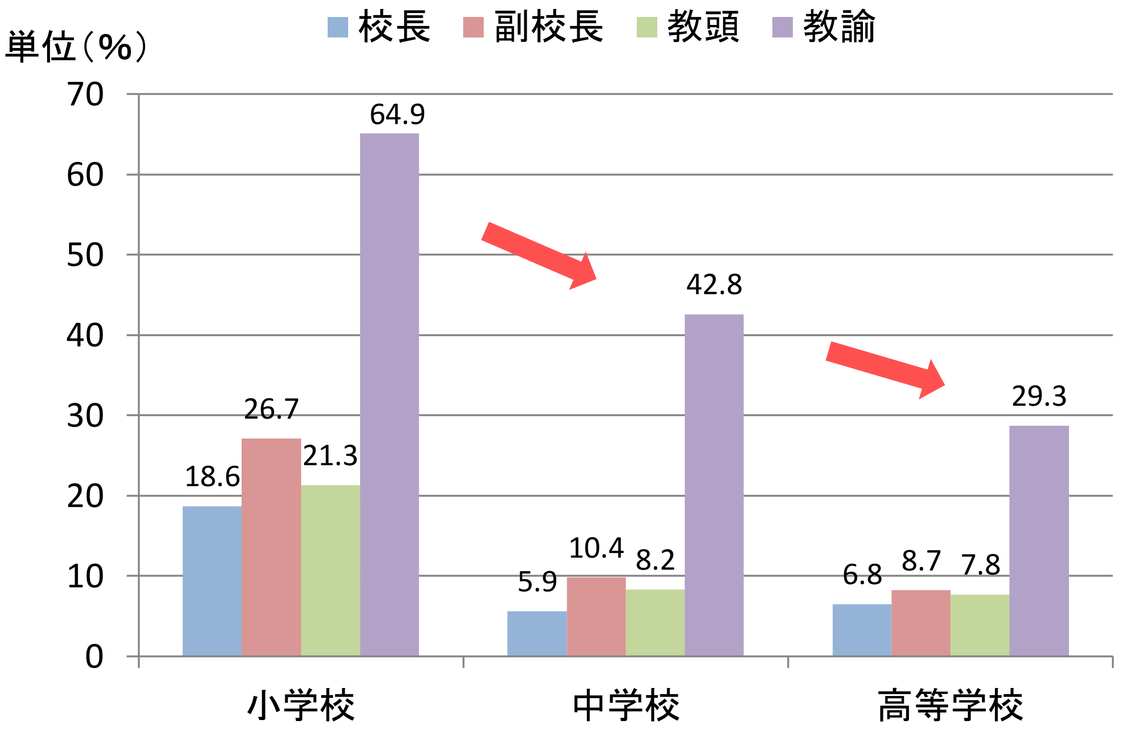


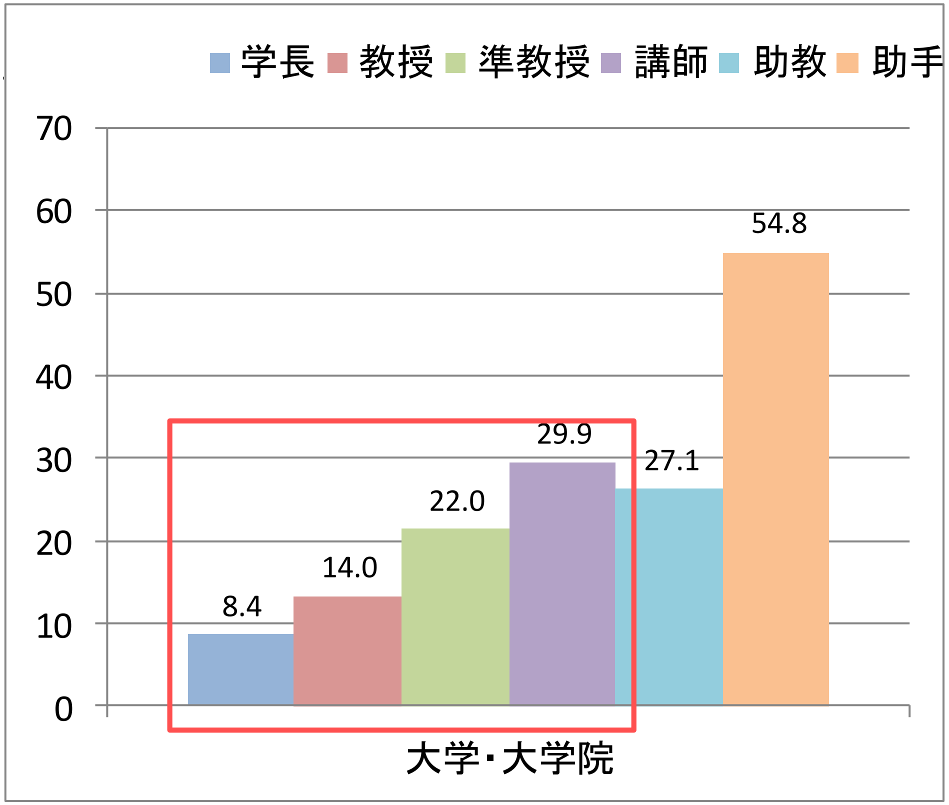
※ 保健には医学・薬学・歯学・看護学を含む

平成26年度「学校基本調査」(文部科学省)より作成

本務教員総数に占める女性の割合（初等中等教育、高等教育）

- 小学校では教諭の６割上を女性が占めているが、中学校、高校と段階が上がるにつれて低くなっている。
- 大学の講師以上に占める女性の割合は、大学及び大学院では３割未満。



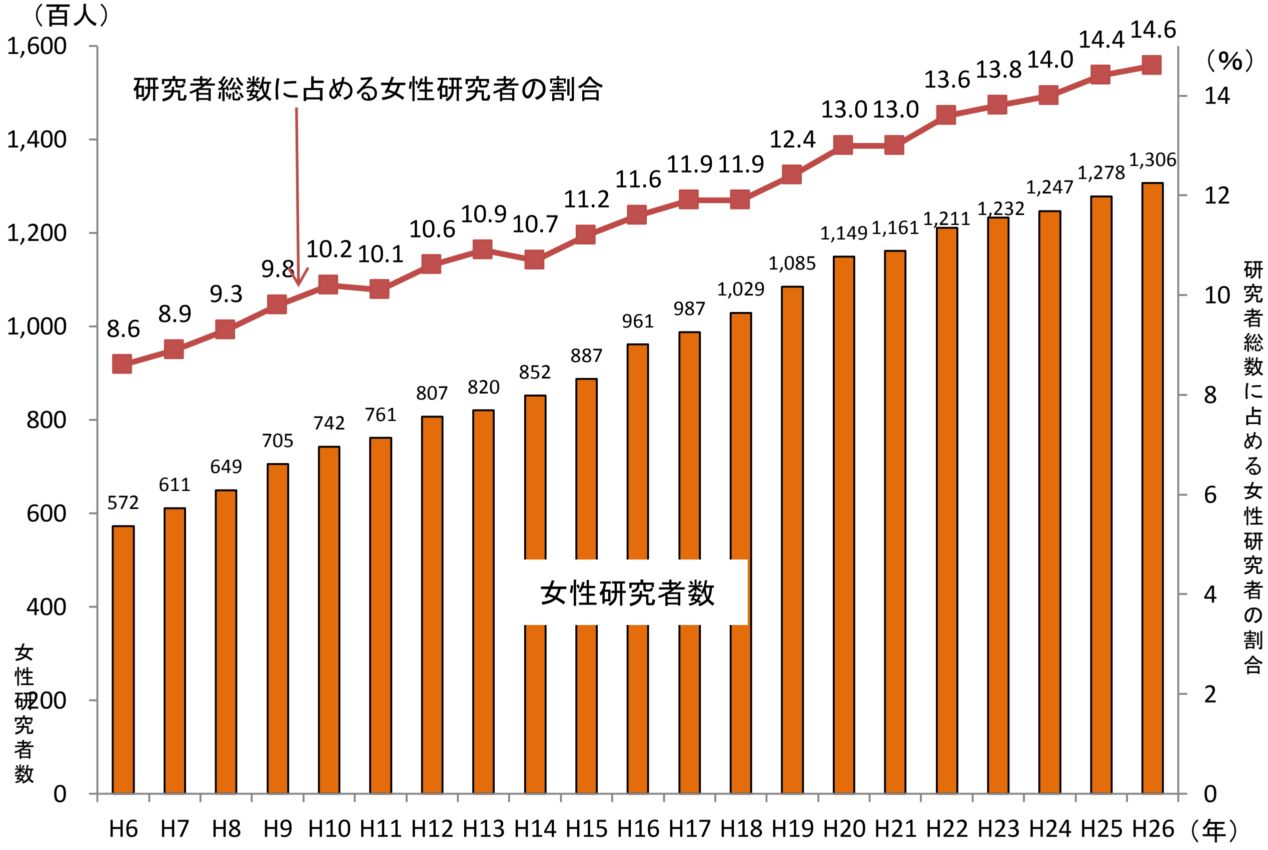


（備考）文部科学省「学校基本調査」（平成25年度）より作成。
（出所）平成26年版　男女共同参画白書

女性研究者数の比率と国際比較

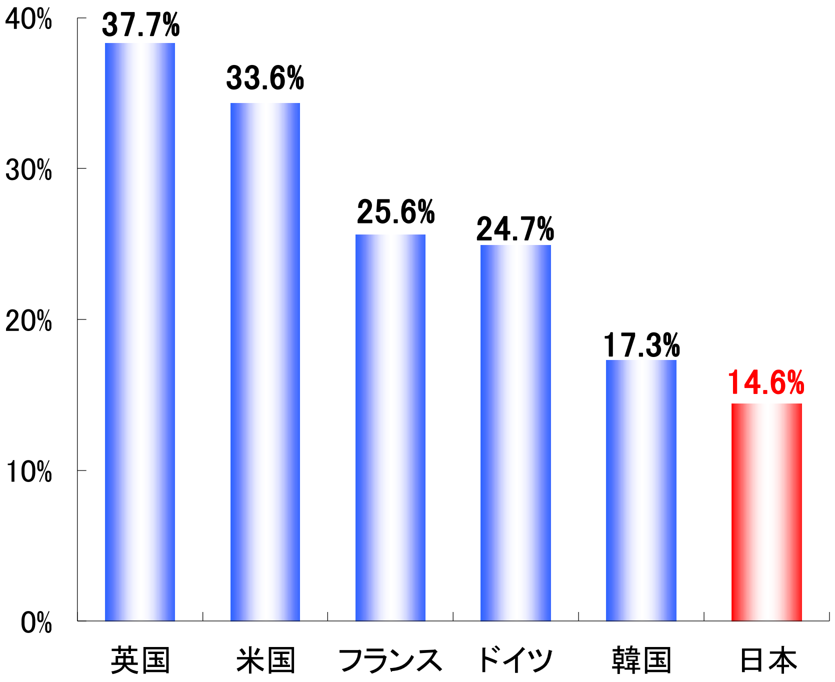
我が国は、第３期科学技術基本計画より女性研究者の採用に関する数値目標を掲げ、その登用及び活躍促進を進めており、女性研究者は年々増加傾向にある。しかし、その割合は、諸外国と比較してなお低い水準にある。

女性研究者数及び比率の推移



以下のデータに基づいて文部科学省において作成。
文部科学省科学技術・学術政策局「科学技術要覧　平成26年版」、
総務省統計局「平成26年　科学技術研究調査報告」

各国における女性研究者の割合



以下のデータに基づいて文部科学省において作成。
総務省統計局「平成26年　科学技術研究調査報告」（日本：平成25年時点）
「OECD “Main Science and Technology Indicators ”」（韓国：平成23年時点）
「EU Eurostat」（英国、フランス、ドイツ：平成23年時点）
「NSF Science and Engineering Indicators 2014」（米国：平成26年時点）

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

初等中等教育

- ◆ 学習指導要領に基づき、男女平等意識の涵養や男女が協力して家庭を築くことの大切さに関する教育を充実。
- ◆ 男女共同参画の視点に立ち生涯を見通した総合的なキャリア教育を推進
- ◆ 固定的な性別意識にとらわれることなく、主体的に進路を選択する能力・態度を育成。

高等教育

- ◆ 様々な分野への女性の参画を促進するため高等教育機関での男女共同参画の視点に立ったキャリア教育を推進。
- ◆ 大学の教職員を対象とした男女共同参画に関する研修等の取組の推進

社会教育

- ◆ 地域の男女共同参画を推進する人材育成のため、国立女性教育会館(NWEC)において、男女共同参画関連施設や地方自治体の管理職、女性団体のリーダーを対象とした研修等を実施。
- ◆ 女性が長期的な視点で自らの人生設計(ライフプランニング)を行い、能力を発揮しつつ主体的に生き方を選択することを支援するための学習機会充実。
- ◆ 家庭・地域への参画や働き方の見直しなど、男性に対する男女共同参画に関する学習機会の提供。

男女共同参画社会の視点に立ったキャリア教育の推進

男女共同参画社会の実現を加速するため、固定的性別役割分担意識を見直し、男女ともに多様な選択が可能となるよう、男女共同参画の視点に立ったキャリア教育の推進等を行う。

- 高等学校の進路指導等において活用できる“男女共同参画の視点に立ったキャリア教育ブックレット”とブックレットを用いた指導の手引きを作成し、全国の都道府県教育委員会、女性関連施設等に配布・ホームページに掲載。

多様な進路・職業を選択し活躍している先輩たちのインタビュー記事や将来のライフイベントを取り巻く社会の現状を示すデータ等を紹介。

学生に向けた男女共同参画に関する学習機会の提供

大学生のための男女共同参画ワールド･カフェ（100人男女会）

概　要

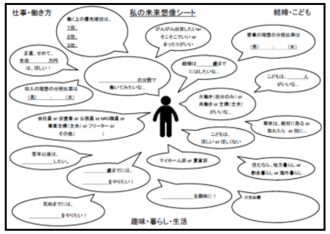
これから社会で活躍する学生が多様な選択の中から自身が希望する生き方や人生設計を行えるよう、大学生を対象に、男女の働き方や家庭生活に関する現状を学び、男女が共に活躍できる社会について議論するワーク・ショップをH24年度より開催。

内　容

①ミニミニ講義
- ✓ 企業の女性管理職割合や男性の家事・育児時間など、男女の働き方や家庭生活に関するデータ等を示しながら男女共同参画の基礎知識を講義。

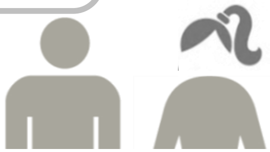
②ワールド･カフェ
- ✓ いくつかのグループに分かれた後、ファシリテーターから出題される問いに基づき、男女共同参画社会の形成に向けた取組や自身の在り方などについてグループを変えながら議論。

③全体発表、ゲストコメンテーターからのコメント
- ✓ いくつかのグループから代表者にまとめを発表してもらい、全体共有。
- ✓ ゲストコメンテーターから男女共同参画の視点から講評。



参加者の声

- 自分が想像していたより、広い視野や考え方、生き方があることを知った。
- 男女の隔たりが自分の中に無意識にあることに,話すことで気づけた。
- 相手を受け入れ尊重し合い、共生することを意識することが必要だと気づいた。
- 男性も女性も色々なことを考えているから、次はそれをどう行動していくかが大事。



【100人男子会×女子会！学生だけの本音ミーティングinみえ】

日　時　：平成26年6月28日10:00～12:30
場　所　：四日市市文化会館（三重県四日市市）
参加者　：大学生115名（男子73名・女子42名）

※平成27年11月7日　富山市にて実施予定

成果の共有

- **・報告書は全国の大学、男女共同参画センター等へ配布**
- **・これまでの実績を踏まえ、ワークショップの実践の手引を作成、配布　（平成27年度予定）**

→

- ・かながわ男女共同参画センター
- ・新潟市男女共同参画推進センター・アルザにいがた
- ・滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課等でも実施

●地域キャリア教育支援協議会設置促進事業

地域において学校等の教育機関・NPO・地方自治体が参画する「地域キャリア教育支援協議会」の設置を促進。
（平成26年度は12地域採択）

公募要領において、実施に当たって
「男女共同参画の観点」に留意するよう 記載。

平成27年度「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」
公募要領
4．本事業の実施に当たっての留意事項
5．男女共同参画の観点におけるキャリア教育について
女性の少ない分野における出前授業の実施の際などに当該分野で活躍する女性に講師を依頼したり、特に女性が、長期的な視点に立って人生を展望し、働くことを位置付け、準備できるようにするため、女子生徒を対象とする内容を検討したりすることも考えられること。

＜地域キャリア教育支援協議会での実施が考えられる主な具体的取組例＞

○学校外部による出前授業等の教育活動支援の促進、キャリア教育に関する外部専門人材のマッチング
学校において体験的な学習の機会を拡充する観点等から、各企業・団体等が自身の持ち味を活かした出張授業など学校教育支援プログラムや、学校と地域・社会や産業界とを結びつけるコーディネート人材やキャリアコンサルタント、就職支援の仕組みや労働法制等を講義する者などとのマッチングを図る。

○職場体験・インターンシップ受入れ先の開拓やマッチング
中・高校では職場体験・インターンシップの受入先確保に困難を抱えており、地域・社会や産業界等による社会一体となった支援の一層の拡充が必要であることから、受入先の開拓やマッチングを図る。

○職場体験・インターンシップ受入経験のない中小企業等へのノウハウ提供
将来的な中小企業との就業ミスマッチを予防する観点から、職業体験・インターンシップ受入経験のある企業が受入れ経験を持たない中小企業に対してノウハウを提供。

川崎市男女共同参画センターの取組　（「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書より）

プログラム実施の連携先

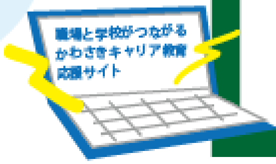
・川崎市工業団体連合会（企業・講師紹介）

団体・ＮＰＯ等の支援機関（支援メニューあり）

- NPO 法人　FDA 川崎
- 認定 NPO 法人　キーパーソン 21
- NPO 法人フリースペースたまりば
- NPO 法人キャリアサポートネットワーク
- 神奈川県立東部総合職業技術校
- 川崎市福祉人材バンク
- かわさき就職チャレンジ事業（株式会社インテリジェンス）

相談機能

- かわさき若者サポートステーション
- ハローワーク川崎、川崎北
- だいＪＯＢセンター（生活自立・仕事相談センター）
- キャリサポートかわさき



協働

かわさきライフキャリア教育支援協議会

- 川崎市教育委員会
- 川崎市経済労働局
- 川崎市男女共同参画センター
  かわさき男女共同参画ネットワーク加盟
  （○川崎商工会議所○川崎市工業振興倶楽部
  ○工業団体連合会○川崎市 PTA 連絡協議会）
- 川崎市市民・こども局　人権男女共同参画室

部会

かわさきライフキャリア教育
プログラム開発会議（高校生向け冊子作成）

- 川崎市教育委員会　指導課
- 川崎市総合教育センター
- 現場の教員代表
- 学識者
- 川崎市男女共同参画センター
- 企画プランナー

プログラム試行実施

研修会 2回、企業説明会 1回、出前講座 1回

各学校の現場の声を踏まえて
プログラムを試行実施
○川崎市経済労働局（労働雇用部）
○川崎市男女共同参画センター

協働

キャリア教育の実践

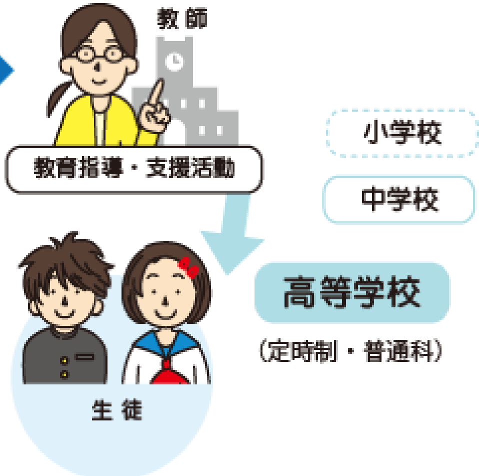
◎各学校の実態にあわせた
　キャリア教育の計画
　進路指導の計画
　↓

□外部講師による講演会
　・社会的、職業的自立にむけた内容や、将来就職した後に必要となる内容　等

□インターンシップや職場体験
　・生徒の要望にあわせた受け入れ先

□進路面談や進路相談

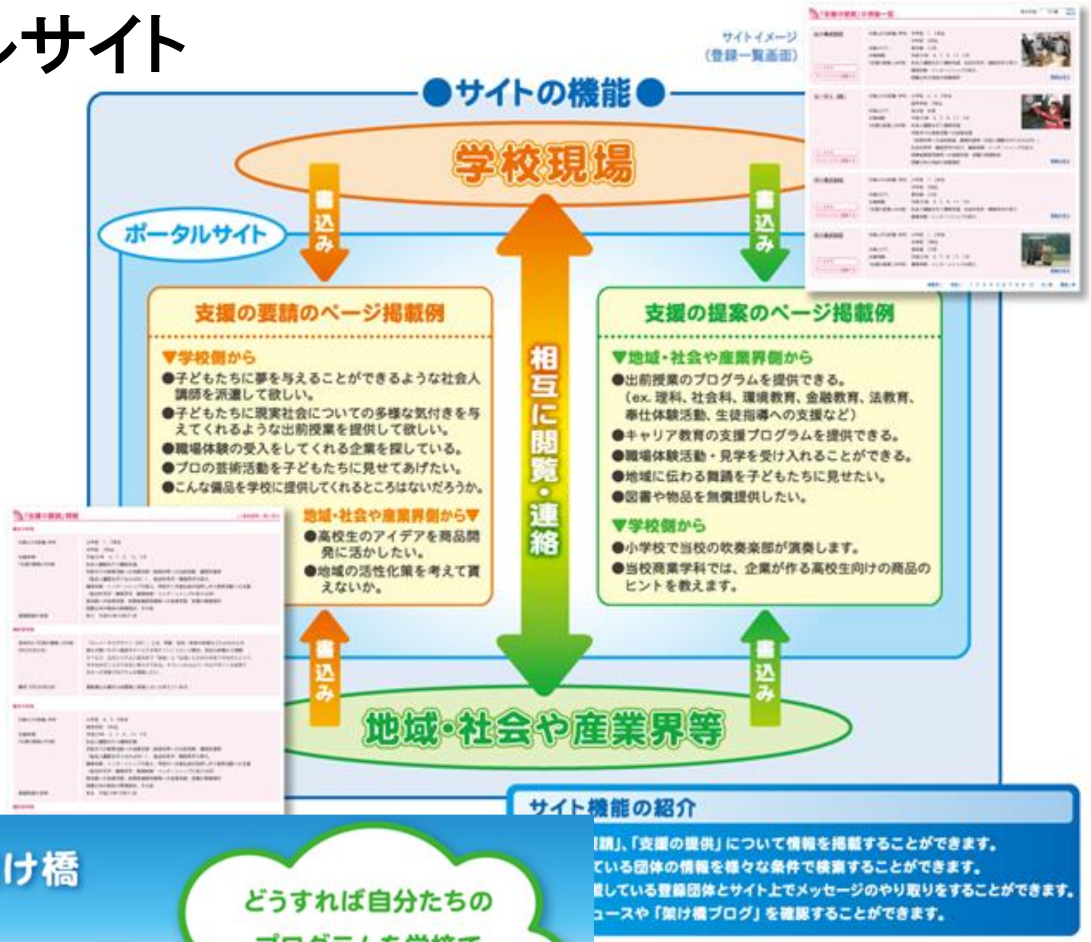
□就労支援
　・企業紹介学習会
　・求人票の調査・研究
　・履歴書の記入学習会
　・面接練習　等



●子どもと社会の架け橋となるポータルサイト

地域・社会や産業界等の学校の外にある教育資源による学校教育支援の提案と、学校からの支援の要望とのマッチングを図るための文部科学省特設サイト

http://kakehashi.mext.go.jp/



大学における取組

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」
（平成23年1月31 日、中央教育審議会）より抜粋

女性の多様なキャリアを意識したキャリア教育や、卒業生等の社会で活躍する女性に接する機会を設けるなどの取組を、正課内外において実施

（例）中央大学

【WISE Chuo　概要図】

<u>正課内の取組</u>:

企業で活躍する女性研究者・技術者を講師として招き、学部1～3年次の女子学生を主たる対象に、少人数のセミナー形式で、様々な研究開発事例や技術課題の取組を紹介する授業を行っている。こういった取組の紹介を通じて、大学で学ぶ科学技術の基礎と産業界でのその応用の関係を認識させるとともに、女性研究者・技術者に期待される役割を認識させる。

このような具体的事例を題材とした課題演習やPBLに取り組むことにより、学生がより具体的に、科学技術の基礎の理解とその産業応用との関係を理解するとととともに、ロールモデルとなる女性との身近で密な交流を通して、学生が自分自身のキャリアを意識した積極的なキャリア形成を行い、専門家への志向を強化する取組を行っている。

<u>正課外の取組</u>:

本学の卒業生を含む、産業界で活躍している若手・中堅・ベテランの各層からの女性研究者・技術者を招いた講演会や、企業（研究開発の現場）の見学会を開催し、女性研究者・技術者としての仕事・結婚・出産・育児休暇後の仕事の継続方法等、様々なライフステージについての理解も深めつつ、各自のキャリアプランの設計方法について学ぶ取組を行っている。

<u>男子学生と学ぶ男女共同参画</u>:

男子学生にも、このようなロールモデルとなる女性からの講義や交流を通じて、女性研究者・技術者に期待される役割や、女性が様々なライフステージで能力を発揮できるようにするために、男性が果たすべき役割を、学生の間から理解させている。

女性のライフプランニング支援

文部科学省では結婚、妊娠、出産等のライフイベントも踏まえ、女性が長期的な視点で自らの人生設計（ライフプランニング）を行い、能力を発揮しつつ、主体的に生き方を選択することを支援するためホームページにて情報提供を行っている。

「女子学生のみなさんへ　はたらく くらす　見つめよう　私のライフプランニング」

＜主な内容＞

- アンケート：入社1～3年目の女性に聞いた10の質問 「働くこと」って何ですか？
- 女性のためのライフプランニング座談会：女性のライフプランニング支援の識者が語る「女性が働く」ということ
- コラム：生涯にわたり女性が学習するということ
- 識者からのメッセージ　等

「土曜学習応援団」になりませんか？～土曜日は学校へ！子供の学びを皆で支えよう！～

○**学校週５日制**を平成14年度から完全実施してから13年が経過し、土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在。平成26年度は**約40%の学校や学校区で、土曜日に何らかの教育活動**を実施中。

○土曜日は平日に比べて、①まとまった時間が確保しやすいことや、 ②社会人が参加しやすいことなどの長所があり、**土曜日ならではの充実した取組が可能**。

学校	土曜日に何らかの教育活動を実施中	全国の公立学校数
小学校	約8,000校	約21,000校
中学校	約3,000校	約10,000校
高等学校	約2,000校	約4,000校
合計	**約13,000校**	**約35,000校**

約４０%の学校で実施予定（H26）

しかし…

○ 学校・保護者等から**企業・団体・大学等の参画によって、多様なプログラムを子供たちに提供したい**という要望が増えている。
○ 現在、多くの学校区の土曜日の活動は、学校の教員による授業や、日頃つきあいのある地域の方等の参画にとどまっている。

そこで！

○ 是非とも、企業・団体・大学等の皆様に、土曜学習応援団になってください。
○ 企業・団体・大学等の強みや実社会の経験を活かして、出前授業等の講師をお願いいたします。

土曜学習応援団の活動が各地で始まっています！

土曜日に出前授業等の講師として参加している事例

賛同企業・団体・大学等数　　現在約４００
→　**さらなる企業・団体・大学等の参画が必要です！**

金融系A社による
グローバル人材を目指す講演

電機メーカーB社による
ハイブリッドカー親子工作教室

掃除用具メーカーC社による
お掃除体験教室

プロ棋士によるやさしい囲碁教室

詳細は、土曜学習応援団ホームページをご覧ください。
URL: http://doyo.mext.go.jp

「土曜学習応援団」の企業・団体・大学等にお願いしたいこと

依頼事項

学校等が行う土曜授業等に**出前授業の講師として参加**をお願いします

（可能であれば、関連企業・団体等へ**土曜学習応援団の紹介**をお願いします）

参加の仕方

出前授業の講師として参加

など

分野	形態	連携先
キャリア教育 自然体験 食育教室 実験・工作 ビジネススキル グローバル人材育成 文化芸術・スポーツ 学力向上 など	**出前授業** 農業体験 施設見学 屋外での体験活動 など	**学校** 市区町村 都道府県教育委員会 など

さまざまな連携のかたちがあります

※具体のプログラムの実施方法・内容は、連携先と相談のうえ、決めることとなります。
（**幼稚園・保育園～高校**までの子供への支援、**親子**での参加も可能）

Q & A

Q.土曜学習応援団になるメリットは?

A.出前授業等にご協力いただくことで、子供たちは豊かな経験を積むことができ、**社会に役立つ人材育成に貢献するなかで、地域との連携ができ**、取組に対する理解が得られるなど、**企業イメージが向上**します。
　応援団になっていただくと、**文部科学省が、取組をホームページや自治体への説明会などで広く周知**します。

Q.出前授業等の具体的な実施にはどうしたら良い？

A.当面は**企業・団体・大学等の連絡窓口と協力内容を登録**いただき、学校等からの依頼を**文部科学省からご連絡します**。やりとりを重ねる中で、学校等から直接ご連絡することもあります。

参考
- 土曜学習の**実施主体は、その学校を設置する自治体など**です。
- 自治体では、**教育委員会の社会教育課等**の部署が担当しています。
- 土曜学習以外に、**夏休み中の平日や、平日、土曜日の授業、放課後の活動への出前授業も実施可能**です。

Q.土曜学習応援団になると何か負担がありますか?

A.土曜授業等への出前授業の講師として参加や土曜学習応援団の紹介をお願いしていますが、土曜学習応援団の賛同に際し、**協賛金等の負担をお願いすることはありません**し、実施の条件が合わない場合は、実施を見送りいただいてかまいません。**できる範囲でご協力をお願いします。**

Q.取組に対する助成措置はありますか?

A.助成措置は**自治体の判断**となります。謝金や旅費等がでることもありますし、無償でお願いすることもあります。
　なお、文部科学省では、自治体が出前授業の講師等に支払う講師謝金等に対して**自治体向けの補助事業**を新設しました。
（文部科学省の支援は2,200円／時間まで）

女子中高生の理系進路選択支援プログラム（国立女性教育会館）

○ 国立女性教育会館では、毎年８月に２泊３日で、女子中高生を対象とした「夏の学校」を開催。2014年度は女子中高生112名、保護者・教員29名が参加。

○ 理工系分野で活躍する女性からキャリアパスや職場の様子を紹介したり、実験等を通して理系の魅力を体験する等のプログラムを実施。

○ 生徒だけでなく教員・保護者向けのプログラムを実施。保護者には理系進路選択の魅力等を紹介し、教員には年間指導計画案づくり等を実施。

○ 平成18年度*から実施しており、OGが学生スタッフとして企画・運営を行っている。

○ 日本学術会議（※）が共催し、男女共同参画学協会連絡会が協力。

*平成17年度は「ヌエック公開シンポジウム」として実施
※「科学と社会委員会科学力増進分科会」・「科学者委員会 男女共同参画分科会」

実験

保護者向け講演

キャリア体験すごろくゲーム

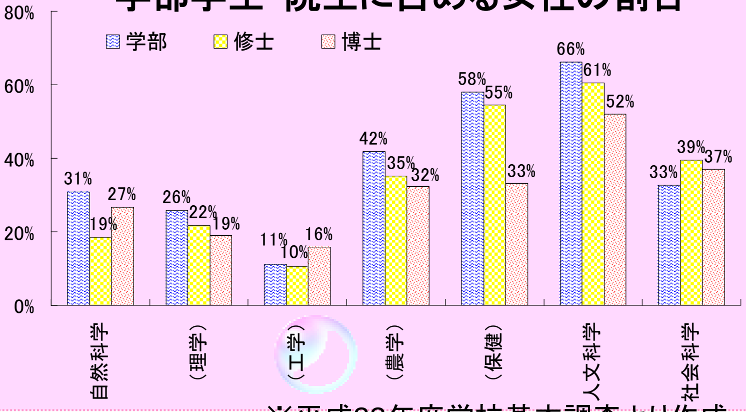
女子中高生の理系進路選択支援プログラム（サイエンス・チャレンジ・サポート）

女性研究者の積極的な採用・登用を促進するための取組に加え、女子児童・生徒に向けて理系分野に対する興味や関心を喚起する取組の強化が必要。

課題

- 女性が科学技術分野に進む上での参考となる身近な事例が乏しく、女性が研究者等をめざす上で将来像が描きにくい。
- 自然科学系の学部・大学院に占める女性の割合は、人文・社会科学に比べて非常に低い。

学部学生・院生に占める女性の割合



※平成23年度学校基本調査より作成

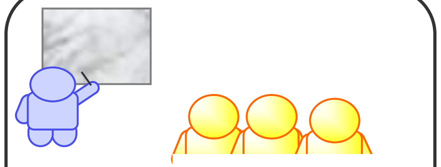
進路選択の参考になる身近な事例、ロールモデル等の情報の提供！

平成２５年度
・連携により大きな相乗効果を見込む
企画を実施する機関：１件
・上記以外の機関：９件

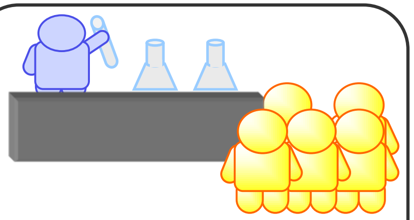
女子中高生の理系進路選択支援プログラム

科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流機会の提供や実験教室、出前授業の実施等、女子中高生の理系進路選択を支援する取組を実施する。

取組例



女性研究者・技術者によるロールモデルの提示



実験教室の実施

理系学部に入学

（独）科学技術振興機構

採択

企画案応募

大学、大学共同利用機関、高等専門学校、独立行政法人、公設試験研究機関、企業など

期間：1年
金額：原則150万円以内

女子中学生、女子高校生

（参考）女子中高生のための関西科学塾２０１２

女性研究者による講演、グループワーク、実験・実習、研究施設訪問、女性技術者との交流、実験成果発表等の体験活動を通じて、理系分野への興味関心が高まり、進路意識が醸成された

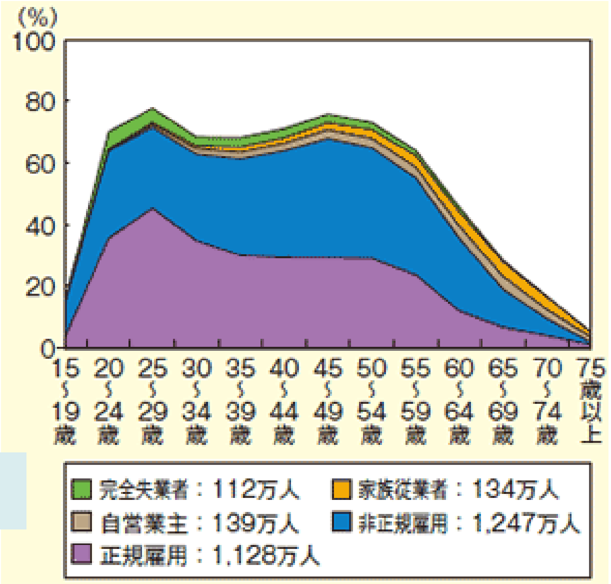
学び直し支援

提言

- 『**まち・ひと・しごと創生総合戦略**』（１）-(エ)-③地域における女性の活躍促進
  ○学び直しを通じ、女性を就労や起業、地域活動への参画につなげる地域や大学、専修学校等の取組を促進する。

- 『**教育再生実行会議６次提言**』（女性の活躍支援等）
  ○･･･地方公共団体、社会教育施設等とともに、結婚・出産等を機に離職した女性が地域活動に参画しやすくなるよう、NPO等と連携し、学びからその成果をいかした地域活動までの切れ目のない支援を行う。

女性の教育別年齢階級別労働力の就業形態別内訳（平成24年）



取組

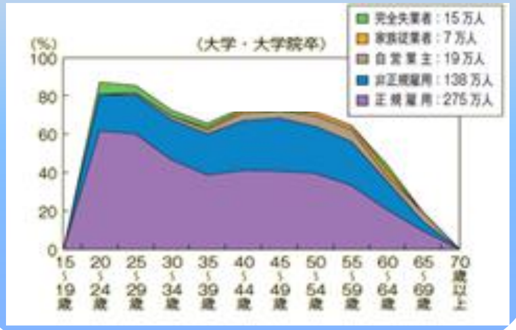
【学び直しを通じた地域活動参画や就労の促進】　（平成２７年度～）
○**地域において社会教育施設、大学の生涯学習センター等が連携**して、女性の潜在力を掘り起こし、学び直しを通じて、地域活動や就労・起業等につながるよう支援。

【女性の職場復帰や再就職等を支援するカリキュラム開発】
○大学・専修学校等で、**女性も学びやすい形での、職場復帰や再就職等を支援するカリキュラム開発**等の支援・全国展開。

○放送大学において、２４時間いつでも授業の視聴を可能とするオンライン授業科目等の開設による、**社会人の学び直しやキャリアアップ支援の強化**。
（例：認定こども園法改正に伴う特例科目、女性キャリア支援科目の開設等）

◆教育別年齢階級別労働力率

<大学･大学院卒>



（出典）平成25年版「男女共同参画白書」

男女共同参画社会の実現の加速に向けた学習機会充実事業

地域における女性の学び直しの促進

一旦離職した地域の女性人材を対象に、学び直しを通じた社会参画を促進するため、地域の関係機関・団体によるネットワークの形成とその取組の在り方を検討し、全国に普及する。

地域における女性の学び直し促進会議の設置

○有識者会議による検討

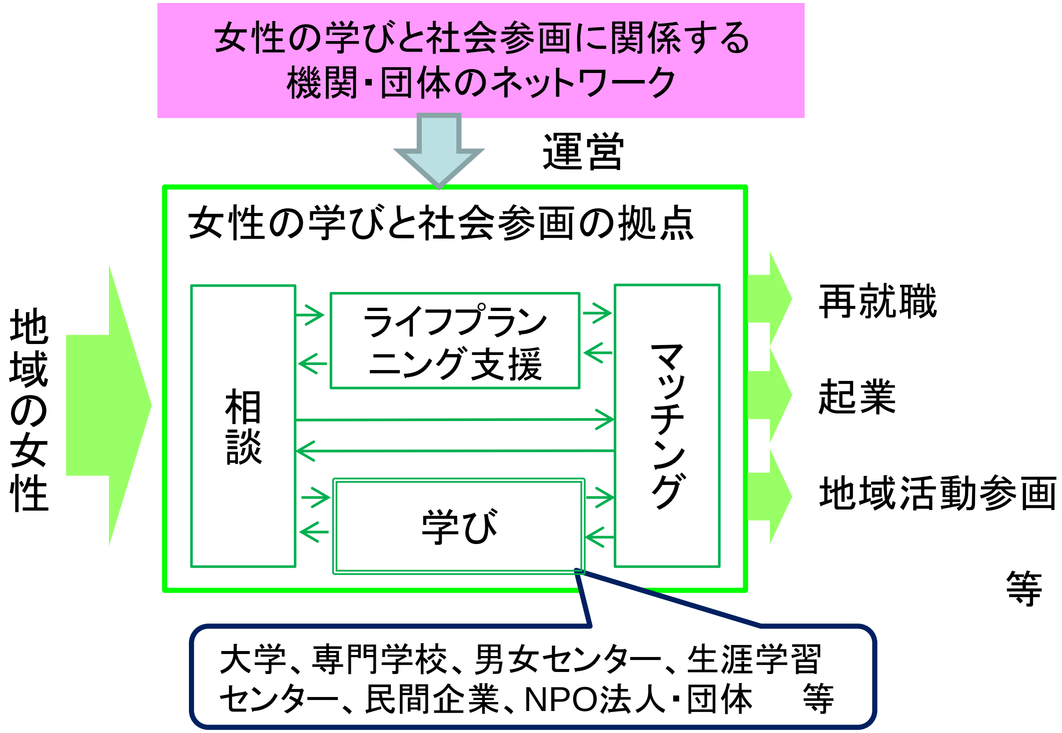
・女性の学び直しや再就職、起業、地域活動参画等の社会参画に関する地域の機関・団体がネットワークを形成し、女性の学び直しから社会参画までを総合的にサポートする取組の在り方について、有識者による検討を行う。

○調査研究の実施

・有識者ヒアリングを踏まえ、地域における女性の現状や学びに向けた課題等について調査研究を行う。

○グッド・プラクティスの収集

・本事業に資する取組を実践している地域の実態を調査し、Good Practice を収集する。

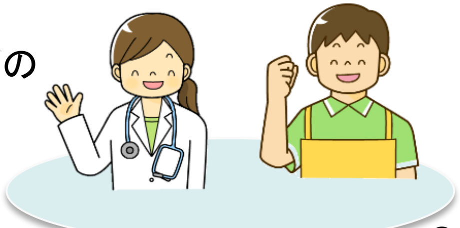


女性の学び直し応援フェスタの開催

○普及のためのフェスタの開催（年1回）

・促進会議による検討状況や地域のGood Practiceを報告・発表する。
・女性の学び直しと社会参画に取り組む各地域による情報交換と情報発信を行う。
・女性の学び直しと社会参画に関する全国規模の団体・機関や民間企業等による情報提供を行う。

結婚・出産、介護等を機に離職した地域の女性たちを、学び直しにより、再就職、起業、地域活動参画などの社会参画につなげる各地域の取組が充実



様々な分野で男女がともに活躍多様なキャリア形成を！

成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進

（前年度予算額：1，679百万円）
平成27年度予算額：1，567百万円

（背景）

【「日本再興戦略」-JAPAN is BACK-（平成25年6月14日閣議決定）】
一．日本産業再興プラン ～ヒト、モノ、カネを活性化する～
　２．雇用制度改革・人材力の強化
　　⑤若者・高齢者等の活躍促進　○若者の活躍促進
・　大学、大学院、専門学校等が産業界と協働して、高度な人材や中核的な人材の育成等を行うオーダーメード型の職業教育プログラムを新たに開発・実施するとともに、プログラム履修者への支援を行うなど、社会人の学び直しを推進する。

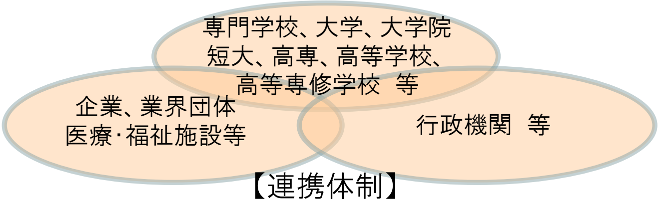
【「日本再興戦略」改訂2014-未来への挑戦-（平成26年6月24日閣議決定）】
一．日本産業再興プラン
　１．緊急構造改革プログラム（産業の新陳代謝の促進）　ⅲ）サービス産業の生産性向上
・　サービス産業の革新的な経営人材の育成を目指した大学院・大学における、サービス産業に特化した実践的経営プログラムや、専門学校等における実践的教育プログラムを開発・普及

（事業の趣旨）

専修学校、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、高等学校等と産業界等が産学官コンソーシアムを組織し、その下で職域プロジェクトを展開し、協働して、就労、キャリアアップ、キャリア転換を目指す社会人や生徒・学生に必要な実践的な知識・技術・技能を身につけるための学習システム等を構築する。そのような取組を通じて、成長分野等における中核的専門人材や高度人材の養成を図る。

産学官コンソーシアム(分野別)

企業・業界団体等のニーズを踏まえた養成すべき人材像を設定・共有し、各職域プロジェクトの進捗管理・評価等を行う。



【連携体制】

【成長分野の例】
「環境・エネルギー」「食・農林水産」「医療・福祉・健康」「クリエイティブ」
「観光」「IT」「社会基盤」「工業」「経営基盤強化」　等

職域プロジェクト

全国的な標準モデルカリキュラム等の開発・実証

産学官コンソーシアムの方針等を踏まえ、各分野・職域の全国的な標準モデルカリキュラム等を開発・実証。

○ 環境・エネルギー分野…「建築・土木・設備」「自動車整備」○ 食・農林水産分野…「6次産業化プロデューサー」「アグリビジネス」　○ 医療・福祉・健康分野…「介護」「看護」「保育」「食・栄養」
○ クリエイティブ分野…「ファッション」「美容」「アニメ人材」○ 観光分野…「インバウンド」「ツアープランナー」　○ IT分野…「クラウド」「情報セキュリティ」「スマホ・アプリ」
○ 社会基盤分野…「次世代国内インフラ」「インフラ海外展開」　○ 工業分野…「防災都市工学」　○ 経営基盤強化分野…「企業会計」「記録情報管理」　等

地域版学び直し教育プログラムの開発・実証

開発した全国的な標準モデルカリキュラム等を活用し、各地域の専修学校・大学等において、地元企業や業界団体等のニーズを踏まえた「オーダーメード型教育プログラム」を開発・実証。

特色ある教育推進のための教育カリキュラムの開発・実証

後期中等教育段階から高等教育や職業へ継続性のある教育カリキュラムの開発・実証により、円滑な移行を促進。
・後期中等教育段階と高等教育段階の連携による実践的・創造的技術者等の養成に対応した教育カリキュラム等の開発・実証
・発達障害のある生徒等、特別に配慮が必要な生徒・学生が学ぶための教育カリキュラム等の開発・実証

中核的専門人材や高度人材の養成、社会人等の学び直しを全国的に推進

社会人や女性の学び直し教育プログラム事例

横浜市男女共同参画推進協会

保育・介護・看護分野での女性の就労促進学び直しプログラム開発

◆目的：結婚、出産、子育てなどで離職した女性が、一人ひとりのライフプランに合った働き方の見通しを立てたうえで、保育・介護・看護分野の実践的な知識、技術、技能を身につけて就労することを支援するための短期プログラムを開発し、試行実施を経て実証する。

◆保育・介護・看護分野での女性の就労促進学び直しプログラム開発会議、プログラム企画ワーキンググループを実施

◆女性のための学び直しプログラムの実施
①説明会
②キャリアプランニング講座
③キャリアカウンセリング
④専門研修
（保育士、学童保育指導員を目指す人、介護の仕事を目指す人、看護師への復職を目指す人等コースを分けて実施）
⑤キャリアカウンセリング
⑥修了者の会

◆自己効力感尺度の開発
◆専門家・専門機関との連携

男女共同参画フォーラムしずおか

観光分野における女性の人材育成プロジェクト

◆「観光業」：観光客の多様な個別ニーズにより細分化されたサービスの提供や新たな提供の仕方が求められている。

◆女性の持つ多様な経験が、学び直しによって職業能力開発に結びつけられれば、「観光・交流」は女性の活躍が大いに期待できる分野となる。

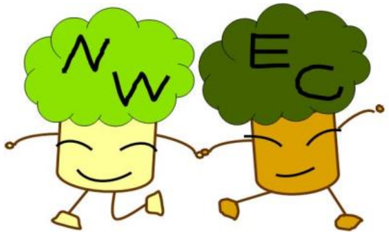
◆プログラム開発・実証に向けて産学官連携会議を設立し、識者の助言を受けるとともにワーキング・グループで作業

◆平成26年度は調査研究を実施
・女性の学び直しニーズを把握するための「女性のキャリアと学びに関するアンケート調査」
・観光業界が求める人材像を把握するための「観光分野における人材ニーズヒアリング調査」

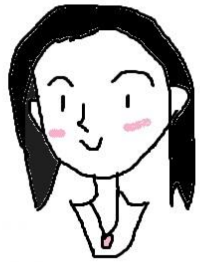
◆平成27年度はモデル講座を実施予定

お問い合わせ先

文部科学省生涯学習政策局　男女共同参画学習課
ＴＥＬ：０３－５２５３－４１１１
（内線２６５４）
Ｅ-mail：danjo@mext.go.jp



ヌエッキー

本日ご紹介した「**男女共同参画社会の実現に向けた学習機会充実事業**」の成果物、**女性のライフプランニング支援**のためのパンフレットや各種調査研究は文科省HPに掲載されており、ダウンロードして御活用頂けます。

ワールド・カフェを実施された場合はぜひ情報をお寄せください！